

野菜の需給・価格動向レポート(平成29年4月24日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	3月の価格情報				4月		4月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の5月上旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 → 現時点の価格水準 現時点の価格水準 ← 平均価格 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	4月上旬				
		中旬	下旬							
キャベツ	96.86	113	115	88.59	128	・9.276t (98%)	神奈川県(46)、愛知(36)	平均価格	神奈川県は、天候に恵まれ気温も高めで推移し生育は概ね順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、天候に恵まれ適度な降雨もあり、生育は順調で大玉傾向であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 神奈川県及び愛知産の出荷が引き続き平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	92.10	107	112	91.02	121	・3.313t (93%)	愛知(59)、兵庫(14)			
たまねぎ	83.77	109	112	95.80	118	・6.923t (101%)	北海道(46)、佐賀(43)	平均価格	北海道産は、貯蔵物からの計画的な出荷で出荷終盤をむかえ、引き続き平年並みの出荷の見込み。佐賀産は、生育は概ね順調であるものの、昨年の天候不順の影響により作付面積が減少していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年並みと見込まれるものの、佐賀産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	83.77	100	108	95.80	119	・2.428t (113%)	北海道(48)、佐賀(20)、長崎(18)、兵庫(12)			
ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	252.99	309	317	277.31	306	・1.511t (108%)	千葉(48)、埼玉(23)、茨城(11)、群馬(6)	平均価格	千葉県は、秋冬作の切上りが早めであること等から、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、春作が天候に恵まれ、順調な生育となっていることから、今後は平年並みの出荷の見込み。埼玉県は、降雨による収穫の遅れや気温の上昇による傷みなどがあるものの、生育が概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城県は、初夏ねぎの出荷がスタートし、病気もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 千葉県、埼玉県及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均並みに推移する見込み。	
	473.04	530	416	334.73	345	・259t (102%)	徳島(29)、三重(24)、奈良(11)、香川(9)、高知(9)			
はくさい	64.18	110	162	67.05	175	・1.406t (94%)	茨城(87)	平均価格	茨城県は、春作を中心とした出荷で、生育は順調で肥大も良好であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城県の出荷が平年並みと見込まれることから、端境期により急騰した価格は、平均並みに推移する見込み。	
	68.70	106	127	74.06	161	・818t (97%)	長崎(33)、茨城(32)、宮崎(17)、熊本(13)			
ほうれんそう	338.43	458	444	376.10	486	・666t (106%)	茨城(33)、群馬(29)、埼玉(17)、千葉(11)	平均価格	茨城県、群馬産及び埼玉産は、天候に恵まれ気温も高めで推移し生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城県、群馬産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	375.38	452	415	416.73	440	・281t (98%)	岐阜(41)、徳島(20)、福岡(16)			
レタス (結球)	189.66	172	170	156.23	192	・2.991t (82%)	茨城(66)、兵庫(13)	平均価格	茨城県及び兵庫産は、天候に恵まれ適度な降雨もあり、生育は順調で、肥大も良好であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城県及び兵庫産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みに推移する見込み。	
	193.43	171	171	165.00	186	・922t (76%)	兵庫(42)、茨城(16)、香川(15)、長崎(11)、徳島(9)			
きゅうり	266.63	274	257	266.63	253	・4.677t (112%)	埼玉(24)、群馬(21)、宮崎(14)、千葉(14)	平均価格	埼玉県は、3月下旬の天候不順の影響により、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、4月以降は天候に恵まれ生育も回復しており、遅れていた分の出荷も見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。群馬産は、天候に恵まれ、生育は順調で、作付面積も増加していることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。宮崎産は、最近の天候不順の影響により生育が緩慢であることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。千葉県は、天候に恵まれ、生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 宮崎産の出荷が平年より少なめと見込まれるものの、埼玉県、群馬産及び千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平均並みの価格は下がっているものの、レポート期間中に平均価格の水準が下がることから、平均を上回って推移する見込み。	
	254.91	266	248	254.91	247	・1.406t (104%)	宮崎(43)、高知(18)、徳島(14)、群馬(10)			
トマト (大玉)	356.77	333	330	356.77	327	・4.193t (106%)	熊本(28)、栃木(23)、愛知(11)	平均価格	熊本産は、天候に恵まれ適度な降雨もあり、生育は順調であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。栃木産は、3月末の天候不順の影響で小玉傾向ではあるものの、その後は天候に恵まれ肥大も回復していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、天候に恵まれ生育は順調で、小玉傾向も回復していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 栃木産及び愛知産の出荷が平年並みと見込まれるものの、熊本産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、横ばいで推移するものの、レポート期間中に平均価格の水準が下がることから、平均を上回って推移する見込み。	
	337.87	333	332	337.87	328	・1.480t (106%)	熊本(75)、福岡(8)			
なす	347.77	403	383	347.77	389	・1.386t (108%)	高知(51)、福岡(22)	平均価格	高知産は、3月下旬の天候不順の影響から現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、気温の上昇に伴い出荷量も回復すると見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。福岡産は、3月末の天候不順の影響により、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、天候が回復し、気温も上昇していることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均並みに推移する見込み。	
	330.95	378	360	330.95	370	・595t (105%)	高知(37)、熊本(20)、福岡(17)、大阪(14)			
ピーマン	578.80	475	444	339.20	407	・1.160t (105%)	茨城(56)、宮崎(19)、高知(13)	平均価格	茨城県は、3月末の天候不順の影響はあるものの、その前後は天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は4月の天候不順の影響から、平年並みの出荷の見込み。高知産は、3月下旬の天候不順の影響から現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、天候回復や気温の上昇に伴い、出荷量も回復すると見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 茨城県、宮崎産及び高知産の出荷が平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	565.30	437	393	311.41	341	・457t (109%)	宮崎(47)、高知(20)、茨城(12)			
だいこん	79.03	81	89	86.59	100	・5.490t (115%)	千葉(74)、茨城(9)	平均価格	千葉県は、天候に恵まれ生育は順調で肥大も良いことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。	
	80.47	85	87	89.53	85	・2.230t (108%)	長崎(45)、鹿児島(32)、香川(8)			
にんじん	111.16	167	162	156.99	166	・3.247t (113%)	徳島(74)、千葉(8)	平均価格	徳島産は、天候に恵まれ適度な降雨もあり、生育は順調であることから、引き続き平均より多めの出荷の見込み。 徳島産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均並みに推移する見込み。	
	109.97	164	163	148.36	167	・1.616t (118%)	徳島(70)、長崎(18)			

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成20～25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成27年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。

1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	3月の価格情報 (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	3月の価格情報		4月 (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	4月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の5月上旬までの見通し 「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。		
		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	指定野菜の近畿ブロック旬別平均販売価格						
		中旬	下旬						
いも類	ばれいしょ	96.99	214 (221%)	207 (213%)	138.39	207 (150%)	・3,123t (111%)	北海道(49), 鹿児島(45)	<p>北海道産は、貯蔵物からの計画的な出荷となっており、平年よりやや少なめの出荷のまま、4月中旬で概ね切上がりとなった。鹿児島産は、天候に恵まれ生育は順調であり、3月末の天候不順で収穫が遅れた分も出荷されていることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。</p> <p>鹿児島産の出荷が平年より多めと見込まれるものの、北海道産が平年より少ないまま概ね切上がりとなったことから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。</p>
		96.99	214 (221%)	204 (210%)	144.98	217 (150%)	・1,140t (103%)	鹿児島(54), 北海道(40)	

注: 1 平均価格は、過去6カ年(平成20~25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成27年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。

1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

種類	3月の価格情報 (参考) 過去5カ年平均価格	3月の価格情報		4月 (参考) 過去5カ年平均価格	4月上旬の東京及び大阪市場の入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の5月上旬までの見通し 「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。		
		東京・大阪市場の旬別価格	東京・大阪市場の旬別価格						
		中旬	下旬						
洋菜類	ブロッコリー	315.79	310 (98%)	328 (104%)	425.81	374 (88%)	・830t (170%)	埼玉(30), 愛知(27), 香川(16)	<p>埼玉産は、3月下旬の天候不順の影響はあるものの、生育は概ね順調で気温も上昇していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、天候に恵まれ生育は順調で肥大も良いことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。香川産は、降雨及び気温の上昇により病害が散見されているものの、作付面積が増加していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p> <p>埼玉産、愛知産及び香川産において現在の出荷状況が続くと見込まれるが、需要が高まる時期でもあることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。</p>
		336.11	303 (90%)	336 (100%)	447.65	364 (81%)	・216t (157%)	徳島(36), 香川(16), 長崎(14)	
葉菜類	こまつな	287.58	287 (100%)	258 (90%)	311.05	294 (95%)	・289t (103%)	茨城(44), 埼玉(30), 東京(12)	<p>茨城産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、前進出荷の影響により現在平年より少なめの出荷となっているものの、天候に恵まれ気温が高めに推移し、生育は順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。</p> <p>茨城産の出荷が平年並みと見込まれ、埼玉産の出荷も平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。</p>
		252.78	205 (81%)	187 (74%)	274.87	249 (91%)	・138t (121%)	福岡(79), 茨城(7)	
根菜類	アスパラガス	992.61	1110 (112%)	1265 (127%)	1277.37	1364 (107%)	・167t (82%)	栃木(22), 長崎(19), 佐賀(13)	<p>栃木産は、天候に恵まれ生育は順調であるものの、立茎が始まっていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。長崎産は昨年秋の気温が高く収穫期が長引いたこと、2月から3月の気温の低下により萌芽が遅くなったことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。佐賀産は昨年秋の気温が高く収穫期が長引き、春芽が少なく、細物が多いことから、引き続き平年より少なめの出荷となる見込み。</p> <p>栃木産、長崎産及び佐賀産の出荷が平年よりやや少なめ若しくは少なめと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。</p>
		1031.11	1185 (115%)	1410 (137%)	1267.33	1470 (116%)	・43t (80%)	長崎(23), 熊本(17), タイ(15), 福岡(10)	

注: 1 平均価格は、過去5カ年(平成24~28年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成27年実績である。

2 トピック - にんじんの需給動向について -

○西洋にんじんと東洋にんじん
アフガニスタンから13世紀にヨーロッパに渡ったにんじんは、多色であった。そのなかで、次第に黄色が食用の主体となり、15世紀以降、オランダで品種改良が行われ、芯までオレンジ色のものが誕生した。これが西洋系のカロチンにんじんと呼ばれるものである。
日本には江戸時代後期にヨーロッパから直接長崎に入ったものと、ヨーロッパからアメリカを経由して日本に入ったものがあり、これらが現在、日本で栽培されているにんじんの主流となっている。
一方、東洋系のにんじんは、江戸時代初期に中国から日本に入ってきたといわれている。古くから知られていた薬用人参と根の形が似ているが、セリ科であるにんじんは葉がセリと似ていたため、区別して「芹人参」と呼ばれていた。色も多彩で、細長い形状のものであった。関西の金時にんじん(京にんじん)は、現在唯一流通しているといわれる東洋系である。

○にんじんの特長
にんじんは、緑黄色野菜の代表として、ビタミンAの前駆物質であるβカロテンの含有量が豊富で、また、明るいオレンジ色は、料理の彩りを華やかにするため、和食から洋食まで幅広く利用されている。
一世帯当たりの年間購入数量は、昭和60年以降、2,700グラム前後で安定している。子どもから大人まで幅広い年齢層に好まれるカラーに使用されるなど、料理に欠かせない野菜の一つである。
近年、にんじんの消費促進のため、糖度11度を超える、フルーティーなスイートキャロットや、黄色、赤、紫、黒、ペー菊、白、黄色など多彩なカラフル人参、糖度が高くにんじん特有の臭みが少ない碧南美人92(愛知県)、根も葉も食べられる金時にんじんの京かんざし(京都府)などさまざまな特長をもつにんじんが出回るようになっている。

○にんじんの産地
にんじんは、周年で安定的に供給されている野菜のひとつである。4月から6月にかけては徳島産と千葉産が、その後は北海道や青森などの冷涼な産地へと切り替わっていく。
しかしながら、生鮮にんじんは、業務用としての需要も高く、周年で安定的に輸入されている野菜である。特に、国産の供給が不足すると、輸入量が直ちに増える傾向があり、近年、天候不順等の影響による国産の不足感で、輸入量が増加傾向にあることから、国内の供給力の強化が望まれる野菜である。

図1 にんじんの1人当たり(2人以上の世帯)の購入量の推移

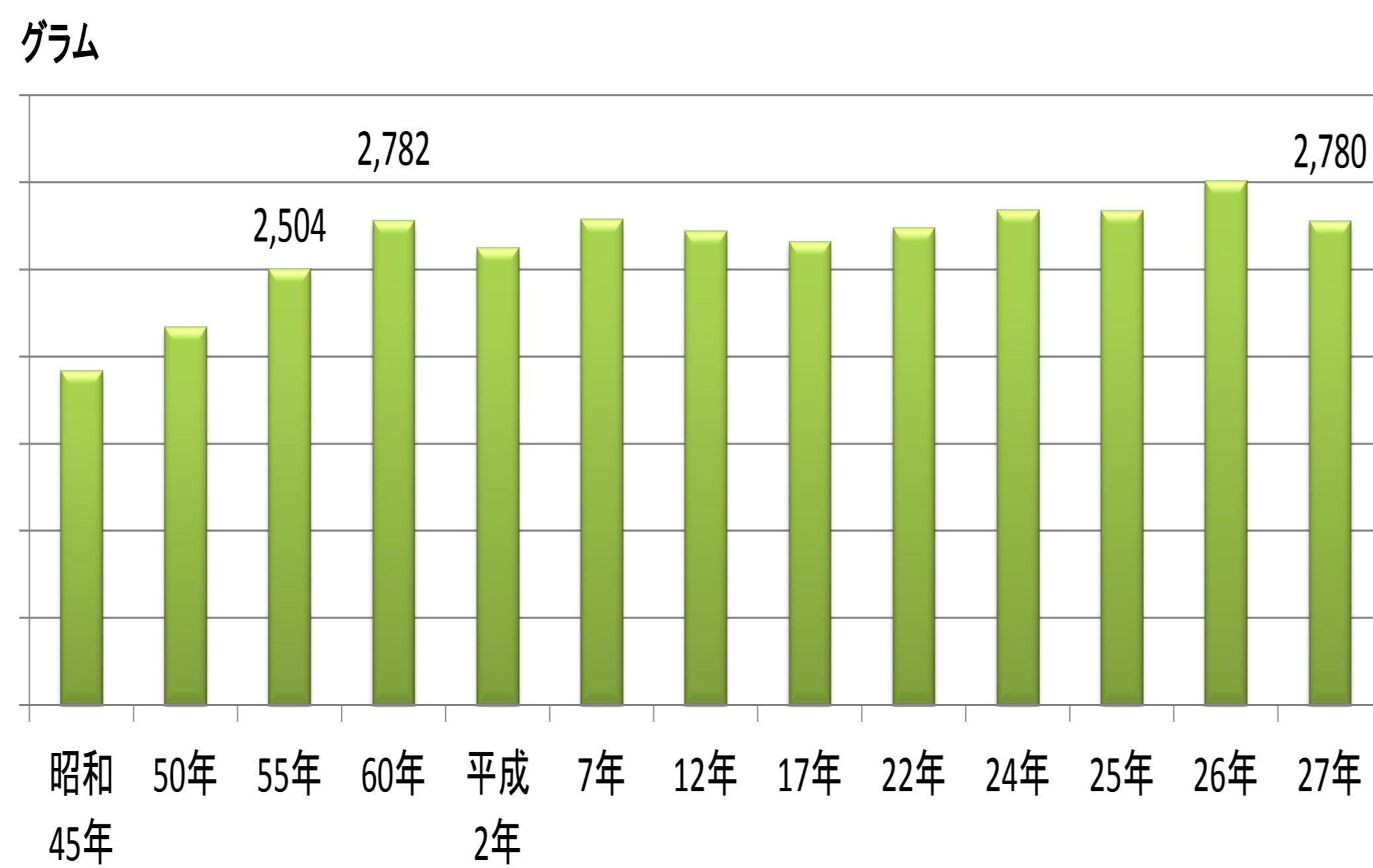


図2 平成28年生鮮にんじんの月別入荷量(東京都中央卸売市場計)と生鮮にんじん輸入数量

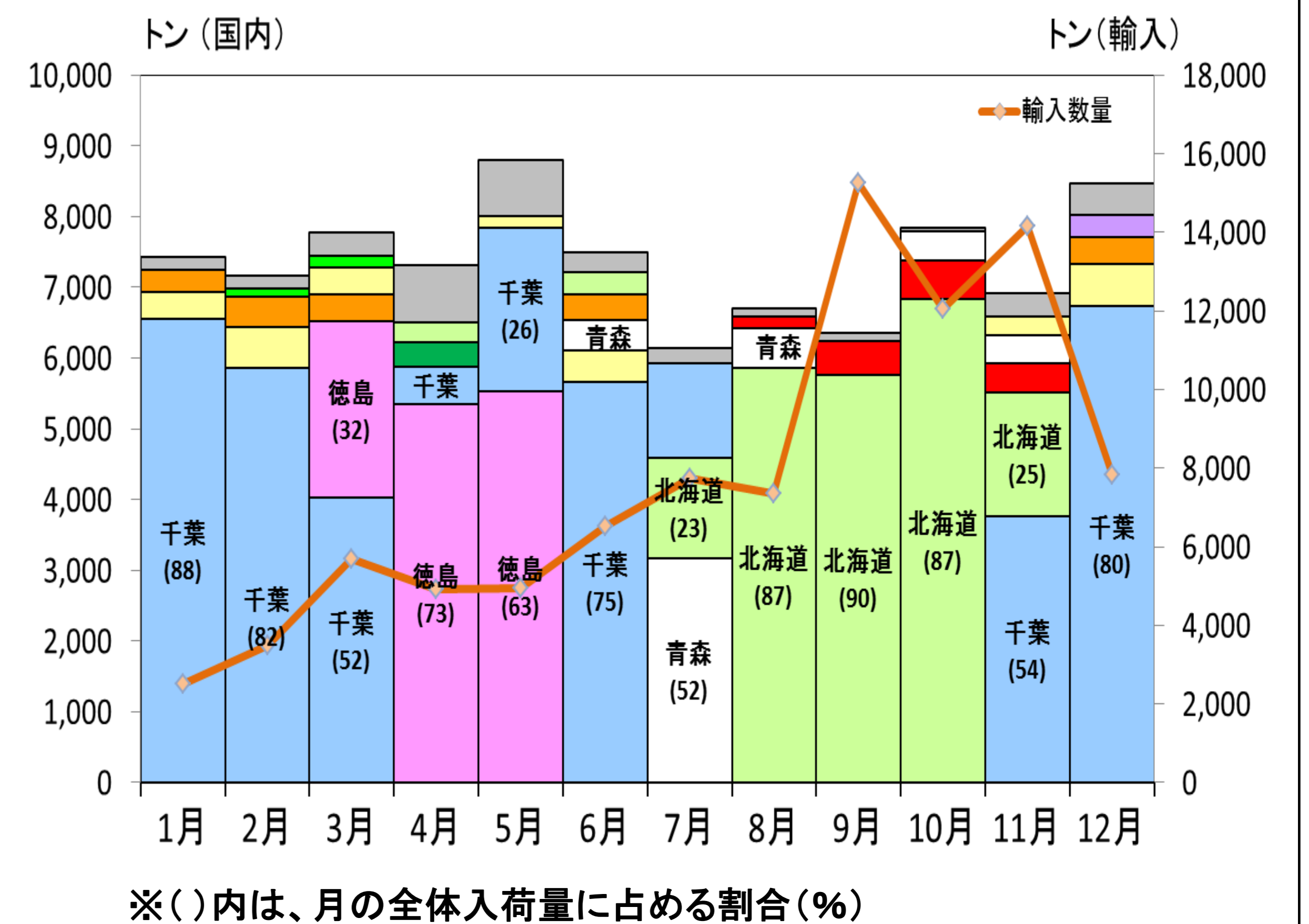
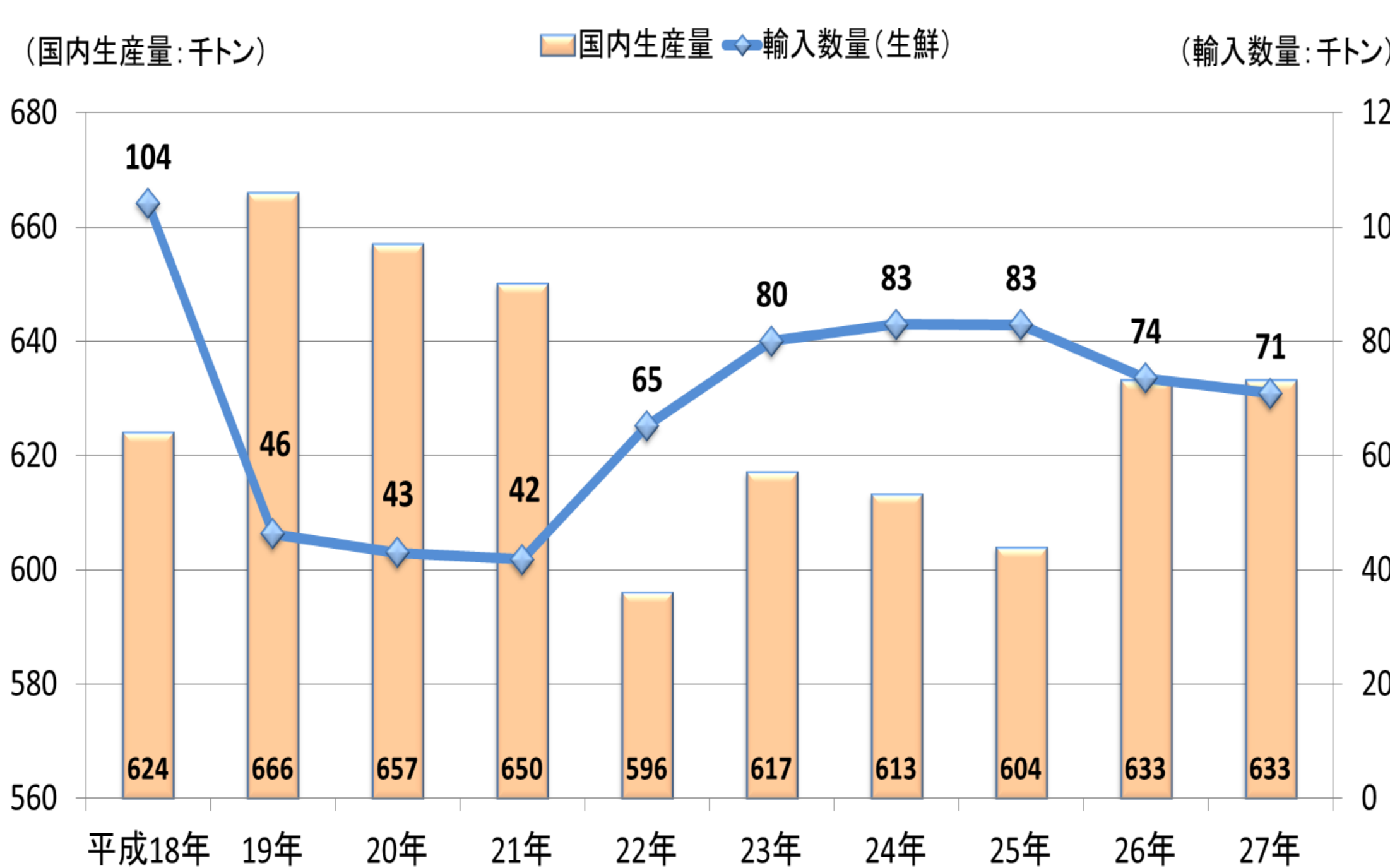


図3 にんじんの国内生産量と生鮮にんじんの輸入数量の推移



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料: 総務省「家計調査報告(二人以上の世帯(農林漁家世帯を除く))」、財務省「貿易統計」、農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」、農林水産省「野菜生産出荷統計」) ※四捨五入の関係上、合計と各計の数字は一致しないことがあります。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、松岡、海老沼、植村、河原 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メルマガジンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。
※無断転載禁ず ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。